

# ビアロスタンダード 施工要領書

## 下地

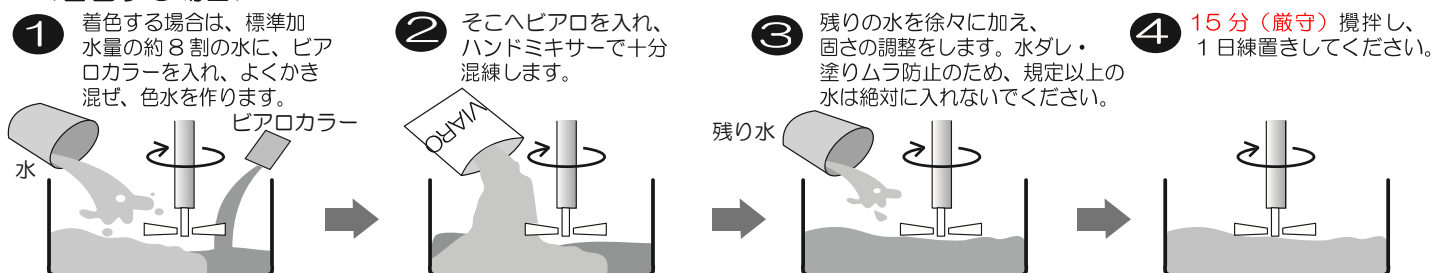
- 最初にビアロ専用下地シートのツルツル面が表で貼られていることを確認してください。また、シートに膨らみやジョイント部分に浮きがある場合は、適切な処理をしてください。
- シート施工後、中 1 日程度経過し糊が完全に乾いている事を確認してください。

## 練り方

- ビアロ専用下塗材 (2 kg/袋) の加水量は **2.8L** です。
- ビアロ (10kg/袋) の加水量は **8L** です。
- 練樽の容量は **30L~50L** 以上のもので用意ください。(後練の材料を注ぎたす際にも便利です。)
- 練樽が樹脂性の場合、ハンドミキサーのプロペラ部が鋭利なものは使用しないでください。練樽が削られる恐れがありますので、ご注意ください。

これ以上の水は絶対に入れないでください。  
塗りムラの原因となります。

## <着色する場合>



<着色しない場合> 標準加水量の約 8 割の水に、ビアロを入れ、ハンドミキサーで十分混練します。あとは、上記③④と同じです。  
※着色する場合も、しない場合もビアロ専用下塗材の工程は同様です。

## 塗り方

- ビアロ専用下塗材はウールローラー (中毛) で 1 回塗りとし、**2 kg/袋で約 40 m<sup>2</sup>塗れます。** (取り合い部・入隅部は刷毛で塗って下さい。 (目安塗布量 120g/m<sup>2</sup>))
- 【注意】ビアロ専用下塗材は粘性がありますので、**マイクロファイバーローラーは使用しないでください。** 後れ毛が発生いたします。
- ビアロスタンダードは、ビアロ専用下塗材が完全に乾いてから、**細目砂骨材ローラーの 1 回塗り**で仕上げます。 (目安塗布量 450g/m<sup>2</sup>)
- 取り合い部・入隅部は、**コーナー専用細目砂骨材ローラー**や**刷毛**で塗って、**追っかけ**にて細目砂骨材ローラーで仕上げてください。\* (施工面の取り合い部、入隅部を全て先に塗っていかないようにしてください。乾くと上から塗った部分が厚くつき、塗りムラようになりますので、必ず追っかけにて施工してください。)
- 枠廻り・チリ・入隅部等は、刷毛を通して仕上げることをお勧めします。
- 仕上げは 1 回塗りが基本ですので、塗りムラがないように、縦横にしっかりと丁寧に塗り、最後にはローラーの目を、そろえてください。
- 薄い塗りムラが生じた部分は早く乾いて白くなりますのでその廻りがまだ水持ちしている間に上からもう一度塗ってください。完全に乾いてから塗ると塗り継ぎようになりますので注意してください。
- 面積が広い天井や吹抜け等の大壁は、表面が乾かない内に複数人で一気に仕上げてください。
- 塗り継ぎはしないでください。

## 施工上の注意事項

- 施工前には、巾木、廻り縁、枠、床などの養生を確実にしてください。
- 白木部はマスキングテープ等で養生してください。強アルカリ性なのでアクが出てシミになる場合があります。
- 白木部などに塗材が付着した場合は、「無水エタノール」で速やかに拭き上げると効果的です。
- 施工時もしくは施工後に、5℃以下になる恐れのある場合は、施工しないでください。
- ④の攪拌時間および練り置き時間が短いと、ダマの原因となり施工性、仕上りにも影響をおよぼしますので、ご注意ください。また、攪拌時間の 15 分はインターバルをとって 5 分を 3 回でも構いません。  
※材料は前日に練置きしてください。材料が馴染んで滑かになり、施工性も良く仕上がりも一層綺麗になります。
- 練置きや残った塗材は、マスキング等で完全密閉しておくこと 4~5 日程度は使用可能です。再使用の際は、5 分程度攪拌してください。
- 練置きや休憩後に施工される場合は、2~3 分程度攪拌してください。

\* 施工要領の詳細につきましては、弊社ホームページ (<http://vialo.jp/>) をご覧ください。